

スキーすく〜る

3月25日(金) ~ 3月29日(水)

IN 長野県白馬村飯森地区白馬五竜『武田館』

	午前	午後	夜
1日目			白馬へ出発
2日目	スキー研修	スキー研修	振り返り
3日目	スキー研修	スキー研修	振り返り・お楽しみ会
4日目	スキー研修	スキー研修	関西へ出発
5日目	到着・解散		

一日目：今年度、最後の“スキーすく〜る”です。昨冬から積み重ねてきた技術の総決算です。大いに楽しみ、実のある内容にしていきましょう！！その為にも車内でしっかり休んで、スキーに備えましょう。起きたら白馬です。おやすみなさい。



二日目：起きると白馬に到着していました。白馬はまだ雪が沢山残っており、歓声が上がっていました。民宿に到着し、朝食を済ませ、準備を完了させるとゲレンテへ向かいました。この日は天候が悪く、雨がポツポツ降っている為、午前の練習を延長して昼過ぎまで研修を行う事としました。初日は眠っているスキーの力を目覚めさせる為に何度も滑り、感覚を取り戻しました。昼に向けて、雨足も厳しくなってきました。それでも滑りたい気持ちは十分持たれており、集中も高かったように感じました。終了時間になり、帰ってくる頃はさすがに疲れが見えており、帰りの車内で休まれている方もおられました。民宿に戻り、昼食を済ませた後は、今日の滑りの確認と、明日の目標を立てました。目標に向けて何が必要なのか、何を頑張るかを決めました。夕方からはゆっくりとグループで過ごしました。今日の頑張りを明日に向けていきましょう！！



三日目：昨日の雨天から一転、天気は快復し、気温も高く、滑るにはうってつけの一日になりそうです。準備を済ませ、早速ゲレンテへ向かいました。今日から各クラス、本格的に研修となります。【めだかクラス】において、昨日行った基礎の振り返りを行った後、早速リフトに乗り、上から滑りました。一本滑るごとに成長が見られ、午後には急斜面にも挑戦されていました。【さんまクラス】は技術の向上を心掛けました。緩斜面で出来る事を急斜面でも出来るように、何度も転びながらも繰り返し練習しました。【イルカクラス】は技術の向上に加え、気持ちに余裕を持って滑ってもらうようにしました。様々な箇所を滑ったり、トリッキーなコースを進んだり、飽きることなく楽しい気持ちで滑っておられました。最終日は明確な目標をこちらからも定め、メンバー一人一人にゴールを設定して滑ります。夜はお楽しみ会で気持ちをリフレッシュしました。皆、疲れが溜まっていたのでしよう。就寝になるとすぐに寝息が聞こえてきました。



四日目：天気は少しどんよりして肌寒いけれど、風は少なく、滑りやすそ

うな一日です。スキー研修三日目となると準備の手際も良く、無駄が見られません。準備を済ませ、ゲレンデに向かいました。スキー研修最終日はクラス分けを明確にし、各々目標を立てて、臨んでいただきました。クラス発表の際に、昨日よりクラスが上がった方が、「えっ!？」と驚き、周りも「おめでとう!!」と祝福されていたのがとても印象に残っています。クラス問わず、全員の動きに確かな変化が生まれました。口には出されませんが、「○○を会得したい!!」という気持ちが動きに表れており、積極的に挑戦されていました。最後に全員で大滑走を行いました。全員が同じコースを、同じコーナリングで滑る事が出来ており、全員のレベルアップが十分に確認出来ました。研修を終えると、恒例のお土産購入タイムです。初めてお土産購入されている方に何度も来られている方が、「これ、美味しかったよ。」とアドバイスされている姿が微笑ましかったです。民宿に戻り、荷物整理、入浴、食事を済ませ、しばらく休み、民宿を出発します。恒例となっている色紙渡しも無事に終え、白馬を出発しました。今年度最後のスキーとしては、良い結果を残せたのではないのでしょうか。本当にお疲れ様でした。



<キャンプ総括>

今回のスキーキャンプにおいて、皆様にお伝えしたい内容が沢山ありますが、その中でも特に印象に残っているシーンについてお話し致します。スキーキャンプに何度もご参加いただいている方のほとんどは初級の【めだかクラス】から始められます。そこから少しずつ技術と経験し、積み重ねていき【さんま】→【イルカ】となります。【めだか】から【さんま】は比較的なりやすいのですが、さんまからが長く、様々な技術と柔軟な対応が求められます。一昨年からご参加された方が、今回ついに【イルカ】になりました。その方は本当に一つ一つ学んだ内容を真摯にこなし、着実にレベルをアップさせていました。スタッフ会議を開き、満場で【イルカ】の称号を得ました。朝の研修前にクラス発表をするのですが、ついに上位クラスで名前が呼ばれた際、喜びよりも驚きが勝っておられたように感じました。代わりに周りの友達が大きい喜び、祝福されていました。妬む事はせず、自分事のように友達の為に喜ぶ、これがキャンプで伝えたい『相手をおもいやる気持ち』なのでしょう。その光景を目の当たりにし、私も嬉しくなりました。スキーを通して、着実に人間成長をされている事を感じた時でした。 (竹中 哲郎)